

佐治町には五しがあります

・星 ・梨 ・和紙 ・佐治谷ばなし ・佐治川石

《佐治川石の特徴について》

佐治川石は京都府の加茂川石、滋賀県琵琶湖から流れる瀬田川の瀬田川石とならび、日本三大銘石の一つに数えられる。水石、盆石や庭石として全国的に有名な佐治川石は日本三大銘石の一つとして人気があります。佐治川石のもとになる岩石は地質図では三郡変成岩(塩基性火山岩)として表され、緑泥石千枚岩、変玄武岩とも呼ばれています。分布区域はごく限られ、細尾から下加瀬木にかけて、佐治川から少し離れた南側山地に帯状に露出しています。

佐治川沿いでは、下加瀬木から北岸に移り、森坪にかけて帯状に分布しています。このもととなる岩石は古生代(約3億年前)の海底火山の活動で噴出された玄武岩質の溶岩や火砕岩です。

これらの岩石は、その後の地殻変動の力を受けたり、さらに、中生代(白堊紀、約1億年前)に花こう岩ができたときの圧力や熱の影響を受けて暗い緑色の岩石となりました。この岩石は地殻変動によって地表面に現れ、風化浸食の働きにより転石となりました。川に流れ出した岩石は、流水の働きを受けてみがかれ、何十万年という長い年月の間に硬い部分が残って、表面が凸凹となりました。その中で、自然に遠山や巨

石の趣をもったものが珍しがられ、佐治谷特産の佐治川石として全国

的に有名になりました。佐治川石と呼ばれる石にはいろいろな形があり、質にも多少の差がありますが、鳥取愛石会では、これら10種類（佐治川真黒石、灰地石、雲かけ石、糸かけ石、へきたん石、虎石、紋石、あられ石、巢立ち石、天平石）に分類していますが、中でも、濡れると青黒く輝く佐治川真黒石は特に貴重がられています。

佐治町では佐治川石の保護に力を入れ、佐治町総合支所の裏にいくつかの佐治川石を配置した庭を造り「黎明の庭」と名付け大切にしています。また、総合支所の少し下流に「佐治川石公園」が作られています。3月にはプラザ佐治に五しの展示館が出来ました。佐治川石の保存につとめている。

※佐治川石は変成岩で大変重い他の石より3倍から4倍もある。

※盆石=盆の上に石や砂を置いて風景をつくり、鑑賞するときにいる石であります。

※地質図=ある地域の地層や岩石の分布など、地質の様子を表した地図です。

※火砕岩=大山の噴火によってできたつばや砂、灰などが堆積し固まってできた岩石であります。

※地殻変動=地球内部の力によって地殻に起こる変化や動き。火山活動、地震、造山運動など起こることを言う。



佐治川石

鳥取市佐治町で採取される「佐治川石（さじがわいし）」は、日本の銘石の一つに数えられ、全国の愛石家に盆石や庭石として、長年愛され続けています。

佐治川石は、佐治町の中でも、主に細尾地区から下加瀬木地区にかけて佐治川から少し離れた南側山地に帯状に分布し、現在は河床に見ることができます。

佐治川石は、もともとは古生代中期から中生代中期（約3億年前）の噴出物が、高い圧力を受けて変化した「変成岩」の一種で、地質学的には北九州から山陰地方にかけて帯状に分布する「三郡変成帯」とよばれる変成岩の分布する領域にある「緑色千枚岩」や「緑色岩」と区分されています。

地殻変動によって地表面に現れ、風化浸食の働きにより転石となり、川に流れ出た岩石は、流水の働きを受けてみがかれ、何十万年という長い月日の間に固い部分が残って、表面が凸凹となりました。

このように、佐治川石の特徴は、表面が凹凸に富んでいること。また、緑泥石など緑色の鉱物が含まれているため、色が全体的に青黒く、所々に緑がかっています。

大正末期から昭和初期ごろ、鳥取市内の造庭趣味家達が佐治石を珍重し造庭に使用するようになり、大邸宅の庭石や旅館等の庭石に使用せられると共に一時に名高くなってきた。

当時京都方面にも多く搬出され、次第に各方面の造庭家が、庭園石或いは盆栽用として全国的に名声を博するようになりました。

そして、一部の大邸宅や旅館などで見られた佐治川石が、一般の愛石家の間に広まり始めたのは、高度経済成長期に入った昭和30年頃のことです。

このブームで注目を集めたことが、不心得者による乱採を招き、良質な石の採集が困難になりました。現在、佐治川周辺は県の自然環境保全地域に指定されています。

なかでも森坪から余戸の間は特別地区として、許可なく石を採取することとは禁止されています。

平成4年、当時の佐治村では、村制施行80周年記念事業として、佐治川石の保存と展示を目的に、当時、大阪芸術大学学長をされていた中根金作さんにより、佐治川石をふんだんに配置した庭を造りました。

「黎明の庭」と名付けられたこの庭は、現在も大切に管理されています。

中根金作さんは、足立美術館、大濠公園内日本庭園、二条城清流園など
全国の数多くの庭を手掛けています。